



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                  |                                                                                   |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| Title            | 交替制労働システムにおける労働者の余暇生活の構造：T製紙工場従業員家族の調査報告                                          |
| Author(s)        | 関谷，耕一                                                                             |
| Citation         | 北海道大學教育學部紀要，9，25-34                                                               |
| Issue Date       | 1963-03                                                                           |
| Doc URL          | <a href="https://hdl.handle.net/2115/28999">https://hdl.handle.net/2115/28999</a> |
| Type             | departmental bulletin paper                                                       |
| File Information | 9_P25-34.pdf                                                                      |



# 交替制労働システムにおける労働者の 余暇生活の構造

——T製紙工場従業員家族の調査報告——

関 谷 耕 一

## 目 次

は し が き

1. 生活時間構造
2. 余暇時間とその内容
- A 余暇時間の概観

B 余 暇 活 動

C 附論：妻の余暇生活

追 記

## は し が き

以下に示す小論は、1962年7月20日(金)、21日(土)、22日(日)の3日間、北海道大学教育学部生活教育講座籠山京教授を中心として、筆者および学生がおこなったO製紙株式会社T工場従業員50家族(いずれも社宅居住)についておこなった余暇生活時間調査の結果の概要である。

調査は、上記3日間および同月23日の計4日間、調査員の訪問面接方式によって実施された。

従来、生活時間調査は、かなり多くのものが発表されている。<sup>1)</sup>しかし、いまだ、交替制が採用されている工場に労働する労働者を、直接に対象としておこなわれた生活時間調査は発表されていない。また、労働者の余暇生活時間そのものの実態を調査したものもない。本調査は、この2点をあきらかにする目的をもっておこなわれた。

なぜ、この2点を問題としたかについて、若干ふれておこう。

技術革新の進展にともなって、交替制労働、それも3交替制による24時間連続操業が採用されてくる。その経済的原因是はしばらくおき、3交替制労働の採用によって、労働時間そのものは、8時間に短縮され、いわゆる長時間労働は姿を消す。したがって、労働時間の長さによって、いわば他律的に決定される睡眠時間および余暇時間(本稿では、労働時間一通勤時間をふくむ——と睡眠時間——就床より起床まで——との合計を一日の生活時間より引いた残りをいう)は、ほぼ合理的な長さをもつことが可能となると推測される。<sup>2)</sup>しかしながら、交替制労働は、これを労働時間の位置からみると、これまでの通念——一部の産業をのぞいて——とはいちじるしく

異なった結果を生む。すなわち、T工場についていえば、6時より14時、14時より22時、および22時より翌朝6時の3交替制で、常昼勤労働者(T工場では8時より16時)に比べて、かなりちがった時間に就労する労働者が発生してくる。そのため、時間的な長さとしての余暇時間は、通常の日勤労働者と変らない——あるいはむしろ長い、その消費が、いちじるしく制限されてくると予測される。というのは、社会的慣習として労働は日中、余暇活動は週日には夕刻より夜にかけて、休日には終日、睡眠は夜間という生活のリズムが決まっているが、このリズムに一致しない生活時間をもつものは、多少とも社会的なファシリティーを利用せねばならぬ余暇活動の内容が、かなり限定を受けると考えられることによる。<sup>3)</sup>もちろん、睡眠時間も、労働時間の絶対的長さによってのみ規定されるものではないが、労働時間の位置の影響よりは、労働の質と量による生理的的必要時間として規定される側面が大きいいってよい。この意味で、余暇時間が、生活時間のうち、もっとも端的に、労働時間制度の影響を受けていると思われる。

およそ以上のような視角に立って、われわれは、交替制労働者の生活時間とくに余暇生活時間を問題にした。

なお、このさい、労働者「家族」すなわち家族持ち労働者を調査対象に選定したのは、単身労働者の生活は、日常生活の場の不備とpartnerの欠如から、いわゆる生活のroutineがなく、生活という通念から逸脱する場合が多いことと、そのことに由来する余暇活動の家族構成員による規制——それはまた社会的規制の一つの形ともいえよう——がないことの二つの理由による。

対象労働者の職種・職階・年齢などは、全従業員の特徴を反映するよう、あるていど調査者の恣意が加えられていることを予め断っておく。

- (1) その紹介については、拙稿「生活時間と余暇問題」(「季刊労働法」第47号所収)を参照されたい。
- (2) ここでいう「合理的」とは、労働生理学的にみて生活時間配分が合法則的であることを意味している。この点にかんする実証的研究としては、籠山京「国民生活の構造」1945年をみよ。
- (3) 拙稿「余暇研究の課題」「日本労働協会雑誌」第50号参照

## 1. 生活時間構造

われわれの生活は、労働にともなうエネルギーの支出と、その損失を補填する休養の中心である睡眠と、それらにまつわるさまざまな行動とからなっている。いま、この三つの分野を、時間の長さで計量したものを、生活時間構造とよんでおく。

以下、T工場の労働者家族の生活時間構造を、余暇生活の分析に立入る前提として概観しておこう。

第1表は、調査がおこなわれた3日間の労働者およびその妻の生活時間<sup>1)</sup>を、3大別して示したものである。

表 1 生活時間構造 (分)

|     |     | 睡 眠           | 労 働           | 余 暇           |
|-----|-----|---------------|---------------|---------------|
| 労働者 | 20日 | 501.7 (34.8%) | 509.8 (35.4%) | 428.5 (29.8%) |
|     | 21日 | 530.2 (36.8)  | 496.4 (34.5)  | 413.4 (28.7)  |
|     | 22日 | 501.7 (34.8)  | 269.1 (18.7)  | 669.2 (46.5)  |
| 妻   | 20日 | 452.4 (31.4)  | 491.4 (34.1)  | 496.2 (34.5)  |
|     | 21日 | 488.4 (33.9)  | 472.5 (32.8)  | 479.1 (33.3)  |
|     | 22日 | 488.3 (33.9)  | 434.7 (30.4)  | 517.0 (35.7)  |

(注) 本調査における妻は、全員雇用労働には就労していない。ここにいう労働とは、家事・育児をいう。以下の諸表はいずれも同じ。

この表より看取されることは、つぎのとおりである。第一に、労働者は、労働時間の多少にかかわらず、睡眠時間がほぼ一定していること、いいかえれば、労働時間と余暇時間との間に相互規定作用があるように思われることであり、第二に、妻の生活時間の構造は、夫のそれよりも、はるかに安定した形をもっていることである。このことは、T工場内に存在する二つの労働時間制度である常昼勤と交替制に労働者を分類してみた第2表についてもまったく同様である。<sup>2)</sup> この点について、本調査と比較しうる最近の労働科学研究所藤本武氏らの機械産業労働者の調査結果<sup>3)</sup> (以下「労研調査」と略称)とは、かなり特徴的な差異をもっている。すなわち、本調査では平日と休日とのあいだに、労働者の睡眠時間にあまり大きな変動がみられないことである。ひとことでいえば、労働者の睡眠時間は、きわめて安定的な値を示しているのである。第3表は、労研調査と、本調査の休日分について示したものである。

表 2 労働時間制度別生活時間構造 (分)

|     |       |     | 睡 眠           | 労 働           | 余 暇           |
|-----|-------|-----|---------------|---------------|---------------|
| 労働者 | 常 勤   | 20日 | 507.7 (35.2%) | 485.0 (33.7%) | 447.3 (31.1%) |
|     |       | 21日 | 523.0 (36.3 ) | 551.0 (38.3 ) | 366.0 (25.4 ) |
|     |       | 22日 | 522.0 (36.2 ) | 144.5 (10.0 ) | 773.5 (53.8 ) |
|     | 交 替 制 | 20日 | 494.8 (34.4 ) | 538.1 (37.4 ) | 407.1 (28.2 ) |
|     |       | 21日 | 538.5 (37.4 ) | 433.3 (30.1 ) | 468.3 (32.5 ) |
|     |       | 22日 | 479.5 (33.3 ) | 405.5 (28.2 ) | 555.0 (38.5 ) |
| 妻   | 常 勤   | 20日 | 466.9 (32.4 ) | 490.2 (34.0 ) | 482.9 (33.6 ) |
|     |       | 21日 | 478.5 (33.2 ) | 460.2 (32.0 ) | 501.3 (34.8 ) |
|     |       | 22日 | 508.0 (35.3 ) | 411.0 (28.5 ) | 521.0 (36.2 ) |
|     | 交 替 制 | 20日 | 436.6 (30.3 ) | 492.7 (34.2 ) | 510.7 (35.5 ) |
|     |       | 21日 | 499.1 (34.7 ) | 485.9 (33.7 ) | 455.0 (31.6 ) |
|     |       | 22日 | 466.2 (32.4 ) | 460.9 (32.0 ) | 512.7 (35.6 ) |

(注) 第1表注をみよ。

表 3 労研調査による生活時間構造 (分)

|                  |       | 睡 眠         | 労 働         | 余 暇         |             |
|------------------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 労<br>研<br>調<br>査 | 労働者   | 平日          | 479 (33.3%) | 680 (47.3%) | 281 (19.4%) |
|                  |       | 休日          | 633 (44.0 ) | 0           | 797 (56.0 ) |
|                  | 妻     | 平日          | 454 (31.5 ) | 601 (41.8 ) | 385 (21.7 ) |
|                  |       | 休日          | 572 (39.7 ) | 413 (28.7 ) | 455 (31.6 ) |
| T<br>工<br>場      | 常昼勤休日 | 518 (36.0 ) | 0           | 922 (64.0 ) |             |
|                  | 交替制休日 | 593 (41.2 ) | 0           | 847 (58.8 ) |             |

(注) 第1表注をみよ。

かつて、籠山京氏は、京浜工業地帯労働者の生活時間構造を調査され、第4表のような結果をえられた。このことから、氏は生活時間の配分法則をつぎのとおり規定される。「第一に労働時間を支出し、第二にこの労働時間

表 4 生活時間配分の現状

|                 | 昼 勤    | 夜 勤    |
|-----------------|--------|--------|
| 労働時間と睡眠時間の相関係数  | -0.336 | -0.303 |
| 労働時間と余暇時間との相関係数 | -0.459 | -0.620 |
| 余暇時間と睡眠時間との相関係数 | -0.468 | -0.782 |

(注) 籠山, 前掲書, 129 ページ

の大小に対応して相反的に余暇時間が支出せられ、第三に、この余暇時間の大小に相反的に睡眠が決まるのである<sup>4)</sup> われわれは、この方法を受けて、第5表にみる計算結果をえた。そこで、今回の調査対象となった労働者の生活時間配分法則は、つぎのように要約できよう。第一に、睡眠時間はほぼ一定の大きさをもって支出され、第二に、労働時間が支出され、第三に、その労働時間の大小に対応して相反的に、余暇時間が決定される、と。

交替制労働システムにおける労働者の余暇生活の構造

表 5 労働者の生活時間の相互関連

|                | 常 昼 勤   | 交 替 制   |
|----------------|---------|---------|
| 労働時間と睡眠時間の相関係数 | -0.6719 | -0.6955 |
| 労働時間と余暇時間の相関係数 | -0.9038 | -0.8084 |
| 余暇時間と睡眠時間の相関係数 | -0.3395 | -0.3286 |

もちろん、労働時間の支出は、労働者の恣意によって決定できるものではない。したがって、生活時間配分は、事実としては、労働時間が支出され、残った時間から、一定時間の睡眠時間が控除され、残余が余暇時間になっているという関係である。

とまれ、労働時間が、交替制の採用にともなって短縮されてくると、睡眠時間は、ほぼ恒常的な大きさを示すにいたり、余暇時間が、むしろ第三次的な順位で決定されるかにみえるようになることは、注目し値するといえよう。余暇時間が、第三次的に決定されるかにみえるといったのは、いうまでもなく、余暇時間もその最低限界をもつものであり、決して、睡眠時間と労働時間の残余部分ではないからである。このことは、さきの籠山氏の描かれたシエーマから、ただちに看取しうるところである。

労研調査は、籠山氏の1943年調査と、われわれの調査との過渡期にあるものと考えてよいであろう。

労働時間が、一日に、また一週あるいは一カ月に、何時間になったら、生活時間にかかる変化が発生するかという転換点を求めることは、生活時間研究の重要な課題であるが、本報告の枠を超えるので、論述は別稿にゆずりたい。

一方、妻の生活時間構造も、かなりたかい安定度を示していた。その理由は、夫である労働者の場合から類推すれば、家事労働の軽減にあるということができよう。過度に長い労働時間が、睡眠時間を削減するように、家事労働の過度の負担は、家事労働担当者の睡眠時間をも、また余暇時間をも圧縮することは、すでにあきらかにされている。<sup>6)</sup> 家事労働を軽減した要因はなにか。それには、さまざまのものが考えられる。家族員の大きさ、家族員の性、年齢構成、収入、生活様式、家族員の健否、生活上の便利などにより、家事労働の質と量は大きく限定を受けるからである。しかし、この点は、今回の調査では一切省略した。

(1) 生活時間の集計に用いられる1日の単位は、(イ)午前0時より午後12時までの24時間、(ロ)起床より翌朝(あるいは、つぎの)起床までの時間の二つがある。本調査では、交替制にともなって起床や就床の位置が不規則なため、前者の方法によつた。

(2) つぎに示す4表も、この点については、ほとんど差異をもたない。

第6表 年齢別にみた労働者の生活時間構造 (分)

|         |     | 睡 眠        | 労 働        | 余 暇        |
|---------|-----|------------|------------|------------|
| 34歳以下   | 20日 | 512 (33.6) | 441 (30.6) | 487 (35.8) |
|         | 21日 | 537 (37.3) | 488 (33.9) | 415 (28.8) |
|         | 22日 | 512 (35.6) | 379 (26.3) | 549 (38.1) |
| 35歳と45歳 | 20日 | 503 (34.9) | 564 (39.2) | 375 (36.9) |
|         | 21日 | 537 (37.3) | 536 (37.2) | 367 (26.4) |
|         | 22日 | 491 (34.1) | 202 (14.0) | 747 (51.9) |
| 46歳以上   | 20日 | 503 (34.9) | 515 (35.7) | 422 (29.4) |
|         | 21日 | 505 (35.1) | 454 (31.5) | 482 (33.4) |
|         | 22日 | 500 (34.7) | 237 (16.5) | 714 (48.8) |

第7表 年齢別にみた労働者の妻の生活時間構造 (分)

|         |     | 睡 眠        | 家 事        | 余 暇        |
|---------|-----|------------|------------|------------|
| 29歳以下   | 20日 | 447 (31.0) | 464 (32.2) | 528 (36.8) |
|         | 21日 | 518 (36.0) | 467 (32.4) | 455 (31.6) |
|         | 22日 | 475 (33.0) | 412 (28.6) | 553 (38.4) |
| 30歳と40歳 | 20日 | 474 (32.9) | 491 (34.1) | 475 (33.0) |
|         | 21日 | 486 (33.7) | 493 (34.2) | 461 (32.1) |
|         | 22日 | 488 (33.9) | 468 (32.5) | 484 (33.6) |
| 40歳以上   | 20日 | 433 (30.1) | 517 (35.9) | 490 (34.0) |
|         | 21日 | 462 (32.1) | 455 (31.6) | 523 (36.3) |
|         | 22日 | 499 (34.7) | 427 (29.7) | 514 (35.6) |

第8表 学歴別にみた労働者の生活時間構造 (分)

|       |     | 睡 眠          | 労 働          | 余 暇          |
|-------|-----|--------------|--------------|--------------|
| 学 卒 者 | 20日 | 472.2 (32.8) | 609.3 (42.3) | 358.5 (24.9) |
|       | 21日 | 545.0 (37.8) | 506.4 (35.2) | 388.6 (27.0) |
|       | 22日 | 485.0 (33.7) | 138.6 (9.6)  | 816.4 (56.7) |
| 非学卒者  | 20日 | 507.1 (35.2) | 491.4 (34.1) | 441.4 (30.7) |
|       | 21日 | 513.1 (35.6) | 520.0 (36.1) | 406.9 (28.5) |
|       | 22日 | 504.9 (35.1) | 293.8 (20.4) | 641.3 (44.5) |

第9表 夫の学歴別にみた労働者の妻の生活時間構造 (分)

|       |     | 睡 眠          | 家 事          | 余 暇          |
|-------|-----|--------------|--------------|--------------|
| 学 卒 者 | 20日 | 450.0 (31.2) | 469.3 (32.6) | 520.7 (36.2) |
|       | 21日 | 519.3 (36.1) | 471.4 (32.7) | 449.3 (31.2) |
|       | 22日 | 464.3 (32.2) | 398.6 (27.7) | 590.0 (40.1) |
| 非学卒者  | 20日 | 452.8 (31.4) | 495.4 (34.4) | 491.8 (34.2) |
|       | 21日 | 482.8 (33.5) | 472.7 (32.8) | 484.5 (33.7) |
|       | 22日 | 492.6 (34.2) | 445.7 (30.8) | 503.7 (35.0) |

(3) 藤本武・下山房雄・森岡静江「最近における労働者の生活時間構造」(労働科学研究所「労働科学」第38巻第3号～第8号1962)

- (4) 籠山、前掲書 128～29ページ  
 (5) 氏原正治郎「女子労働者生活の時間的構造」(大河内一男編「戦後社会の実態分析」(1950)所収)をみよ

## 2. 余暇時間とその内容

### A 余暇時間の概観

われわれのいう余暇時間には、いわゆる生理的生活時間(食事・入浴・身の廻り・休息など)と、家庭を維持してゆくための雑用(たとえば、庭の手入れ、家屋・家具の修理など)のための必要時間、教養・娯楽・交際・時間(おのの居宅と外出の別がある)をすべてふくんでいる。そこで、これらを別々に取出して集計してみると、第10表のようになる。この表から、つぎのことが看

表10 労働時間制度別にみた労働者の余暇時間(分)

|             |     | 生理的時間       | 家庭雑用時間     | 居宅余暇時間      | 外出余暇時間      |
|-------------|-----|-------------|------------|-------------|-------------|
| 常<br>昼<br>勤 | 20日 | 135.7(30.2) | 26.3 (5.9) | 214.2(47.9) | 67.0(15.0)  |
|             | 21日 | 109.2(30.6) | 12.1 (3.5) | 176.3(49.4) | 65.6(18.5)  |
|             | 22日 | 150.4(19.6) | 45.3 (5.6) | 287.1(37.1) | 292.7(37.5) |
| 交<br>替<br>制 | 20日 | 128.8(31.6) | 14.7 (3.6) | 190.5(46.9) | 72.6(17.9)  |
|             | 21日 | 139.6(29.8) | 22.8 (4.9) | 225.8(47.9) | 81.3(17.5)  |
|             | 22日 | 141.7(25.6) | 10.3 (1.9) | 217.7(39.3) | 186.3(33.8) |

取される。第一に、労働者は、余暇時間の大半を家庭で過ごしている。22日(日)に、外出時間がやや長い、それでも、その他の日の約2倍ていどであり、意外に少ない。第二に、家庭の雑用は、消費生活が向上するにつれて、しだいに多くなり、他の余暇活動とおなじような満足度をもつ non-work obligation<sup>1)</sup> となるといわれているにもかかわらず、本調査では、家庭雑用時間が、きわめて短い。第三に、その結果として、余暇時間はそのほとんどが、家庭内での教養・娯楽に用いられている。

表11 年齢別にみた労働者の余暇時間(分)

|                         |     | 生理的時間       | 家庭雑用時間     | 居宅余暇時間      | 外出余暇時間      |
|-------------------------|-----|-------------|------------|-------------|-------------|
| 34<br>歳<br>以<br>下       | 20日 | 135.6(27.9) | 25.0 (5.1) | 242.2(49.8) | 78.9(16.2)  |
|                         | 21日 | 124.4(30.1) | 11.4 (2.8) | 209.7(49.6) | 68.9(16.6)  |
|                         | 22日 | 116.4(21.3) | 12.2 (2.2) | 231.1(42.3) | 169.0(34.8) |
| 35<br>歳<br>～<br>45<br>歳 | 20日 | 124.7(33.5) | 26.3 (7.0) | 154.1(41.5) | 68.5(18.4)  |
|                         | 21日 | 104.8(30.7) | 25.3 (6.4) | 161.6(44.2) | 67.4(18.7)  |
|                         | 22日 | 151.6(21.1) | 26.0 (3.5) | 257.5(34.6) | 309.2(41.7) |
| 46<br>歳<br>以<br>上       | 20日 | 139.9(33.1) | 17.3 (4.0) | 212.6(49.6) | 55.8(13.2)  |
|                         | 21日 | 135.6(17.6) | 15.6 (3.1) | 232.5(48.2) | 98.5(20.4)  |
|                         | 22日 | 160.0(22.7) | 57.0 (8.0) | 260.0(36.4) | 227.5(31.9) |

このかぎりでは、労働時間制度の差すなわち常昼勤も、交替制も労働者の余暇時間の配分に、大差はみられない。この点を年齢別にみると、第11表のようになる。ここでも、35歳～45歳の労働者が、22日(日)に、外出余暇時間を他に比べて多く支出していること——子供といっしょに外出することが考えられる——を除けば、やはり、居宅余暇時間が大半を占めている。

しかし、学歴別にみると、学卒者(中等教育以上修了者)と非学卒者(義務教育修了者)との間には、やや異なるべき差があるように思われる。第12表は、学卒者が非学卒者に比べて、居宅余暇時間がやや短かく、外出余暇時間がやや長いという、両者の逆相関を示している。

表12 学歴別にみた労働者の余暇時間(分)

|                  |     | 生理的時間       | 家庭維持時間     | 居宅余暇時間      | 外出余暇時間      |
|------------------|-----|-------------|------------|-------------|-------------|
| 学<br>卒<br>者      | 20日 | 113.5(31.8) | 34.3 (9.6) | 122.1(34.6) | 88.5(24.7)  |
|                  | 21日 | 130.8(33.7) | 11.4 (3.0) | 184.6(46.7) | 60.7(16.1)  |
|                  | 22日 | 160.7(19.7) | 7.2 (1.0)  | 292.8(36.0) | 355.1(43.5) |
| 非<br>学<br>卒<br>者 | 20日 | 139.7(20.6) | 17.6 (4.0) | 219.2(49.6) | 66.2(14.9)  |
|                  | 21日 | 122.0(29.2) | 18.2 (4.4) | 197.7(47.4) | 75.3(18.1)  |
|                  | 22日 | 145.6(22.1) | 27.9 (4.3) | 234.5(36.2) | 245.9(38.0) |

学歴差とは、さらにいえば、社会階層差である。学卒者と非学卒者とは、それぞれ、ただちにホワイト・カラーとブルー・カラーとに対応するものではなく、むしろ次第にこの差は資本主義の進展とともに消失しつつあるかに現象している。しかし、表見上の類似性にもかかわらず、わが国の賃金制度およびその基礎にある企業の管理秩序が、いまなお、学歴に重点をおくものである以上、学卒者と非学卒者は、おのずから別個の社会階層を形成してくる。経済生活を中心として、異なった社会的生活慣習をもつものが、社会階層であるかぎり、社会階層の差は、余暇生活にもとうぜん反映してくる。だが、この点は、本報告の主題から多少はなれるものであり、これ以上の詳細には立入らない。ただ、交替制労働と常昼勤労働の両制度のおこなわれているT工場で、交替制には非学卒者が、常昼勤には学卒者が多くいる事実を、そのままに調査結果に反映させないように、本調査は留意していることを付言しておきたい。

さて、交替制のもつ余暇生活上の最大の特徴は、これまでの社会通念とは異なった時間に就労することであるとともに、一般社会の休日(日曜ないし祝日)と、交替制労働者の休日とが一致しない問題であろう。余暇生活には、なんらかの社会的施設を利用するものが多い。したがって、かかる社会的施設の提供がない日に休日があ

# 交替制労働システムにおける労働者の余暇生活の構造

たった労働者は、その余暇生活を、大はばに制限されざるをえない。その結果は、第13表のとおりである。

**表13** 労働時間制度別にみた労働者の休日の余暇時間 (分)

|       | 生理的時間       | 家庭雑用時間     | 居宅余暇時間      | 外出余暇時間      |
|-------|-------------|------------|-------------|-------------|
| 常 昼 勤 | 176.6(19.1) | 49.4 (5.4) | 317.0(34.4) | 374.2(40.6) |
| 交 替 制 | 217.0(25.2) | 10.0 (1.2) | 395.0(46.7) | 225.0(26.5) |

この表は、労働時間制度の差にともなう労働者の余暇時間配分の差を、きわめて特徴的に示しているといつてよい。すなわち、第一に、常昼勤労働者は、居宅余暇時間よりも、むしろ、外出余暇時間が長くなっている。これは、かれらの休日と一般社会の休日とが一致している場合が多いからであろう。これに反して、第二に、交替制労働者は、外出余暇時間よりも、居宅余暇時間が長い。理由はいうまでもなく、常昼勤労働者の逆であると考えられる。第三に、同じ理由からと思考されるが、交替制労働者は、生理的生活時間に、かなりの時間をさいている。これは、外出余暇時間の短縮分を、休息および時間的に余裕をもった食事などに振かえていることを示すものである。第四に、このように、休日の余暇のほとんどすべてを家庭ですごさねばならぬ交替制労働者が、

家庭雑用時間をほとんどもたないことが注目される。さきほどのべたとおり、家庭雑用が、次第に、単なる家事分担から、いわゆる余暇活動に類似してくるにつれて、社会全般の休日ではない休日に、家庭雑用を処理することが、社会的施設の便、不便ではなく、個人の心理的な問題として、抵抗を受けてくるとも考えられる。しかしこの点は、詳らかではない。

- (1) Nels Anderson, *Work and Leisure*, 1961.をみよ。かれは、non-work obligation を、報酬をうるためにおこなうものではないが、さればとて、まったく自分の自由な選択によつたのしみにおこなうものでもないとして、これを狭義の余暇活動 (leisure-time activity) から除いているが、しかし、余暇活動ときわめて類似した満足感を与えているものといつている。

## B 余 暇 活 動

前項で、われわれは、労働者の余暇時間配分が、総体としてみると、常昼勤労働者も交替制労働者も、大差はないが、休日をとってみると、両者には、かなりの差異があることをみた。

本項では、この点について、余暇活動の内容に即しつつ分析を進めてゆきたい。われわれは、余暇活動の内容——項目——を、さきの四つの時間区分について、さら

**表14** 労働時間制度別にみた労働者の余暇時間 (小分類)

|           | 常 昼 勤 |       |       |       |       |       | 交 替 制 |       |       |       |       |       |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|           | 20日   |       | 21日   |       | 22日   |       | 20日   |       | 21日   |       | 22日   |       |
|           | 分     | %     | 分     | %     | 分     | %     | 分     | %     | 分     | %     | 分     | %     |
| 食 事       | 54.2  | 12.1  | 56.3  | 15.8  | 76.1  | 9.9   | 50.9  | 12.5  | 68.0  | 14.5  | 63.6  | 11.5  |
| 入 浴       | 11.7  | 2.6   | 12.0  | 3.4   | 15.7  | 2.1   | 1.4   | 0.3   | 9.3   | 2.0   | 3.8   | 0.7   |
| 休 息       | 69.8  | 15.6  | 40.9  | 11.4  | 58.6  | 7.6   | 76.5  | 18.8  | 62.3  | 13.3  | 74.3  | 13.4  |
| 家 事 手 伝   | 16.3  | 3.7   | 1.7   | 0.5   | 12.2  | 1.6   | 11.4  | 2.8   | 12.0  | 2.6   | 1.5   | 0.3   |
| 家 庭 雑 用   | 10.0  | 2.2   | 10.4  | 3.0   | 31.1  | 4.0   | 3.3   | 0.8   | 10.8  | 2.3   | 8.6   | 1.6   |
| テ レ ビ     | 147.7 | 32.9  | 103.0 | 28.5  | 168.0 | 21.7  | 81.9  | 20.2  | 129.0 | 27.6  | 103.6 | 18.7  |
| ラ シ オ     | —     | —     | 9.1   | 2.6   | —     | —     | 6.4   | 1.6   | 7.5   | 1.6   | —     | —     |
| 新 聞       | 16.3  | 3.7   | 22.8  | 6.5   | 23.3  | 3.0   | 20.0  | 4.9   | 24.5  | 5.2   | 25.5  | 4.6   |
| 読 書       | 7.9   | 1.8   | 5.0   | 1.4   | 8.1   | 1.0   | 2.9   | 0.7   | 4.5   | 1.0   | 19.8  | 3.6   |
| 趣 味       | 6.3   | 1.4   | 15.0  | 4.3   | 38.8  | 5.0   | 9.1   | 2.2   | 21.0  | 4.5   | 20.5  | 3.7   |
| だ ん ら ん   | 18.5  | 4.1   | 7.7   | 2.2   | 19.6  | 2.5   | 48.3  | 11.9  | 9.8   | 2.1   | 20.7  | 3.7   |
| そ の 他 居 宅 | 17.5  | 3.9   | 13.7  | 3.9   | 29.8  | 3.9   | 21.9  | 5.4   | 27.5  | 5.9   | 27.6  | 5.0   |
| 映 画       | 17.7  | 3.9   | 10.4  | 3.0   | 3.3   | 0.4   | —     | —     | —     | —     | 30.0  | 5.4   |
| パ チ ン コ   | —     | —     | 21.7  | 6.0   | 9.6   | 1.0   | 29.3  | 7.2   | 19.5  | 4.2   | —     | —     |
| ス ポ ー ツ   | 12.5  | 2.8   | 7.8   | 2.2   | 140.8 | 18.2  | —     | —     | 7.3   | 1.6   | 61.8  | 11.3  |
| 交 際・訪 問   | 17.2  | 3.9   | 13.1  | 3.7   | 56.6  | 7.3   | 25.5  | 6.3   | 13.0  | 2.8   | 63.6  | 11.5  |
| 労 働 組 合   | 10.8  | 2.4   | 1.7   | 0.5   | 5.2   | 0.6   | 17.8  | 4.4   | 18.0  | 3.9   | 9.5   | 1.7   |
| P T A     | 8.8   | 2.0   | —     | —     | 28.6  | 3.7   | —     | —     | —     | —     | 4.3   | 0.8   |
| そ の 他 外 出 | —     | —     | 10.9  | 3.1   | 48.6  | 6.3   | —     | —     | 23.5  | 5.0   | 17.1  | 3.1   |
| 計         | 447.3 | 100.0 | 366.5 | 100.0 | 773.5 | 100.0 | 407.1 | 100.0 | 468.3 | 100.0 | 555.0 | 100.0 |

に細分して、前表をえた。まず、調査した3日間について、常昼勤・交替制別に、労働者の余暇活動をみてゆこう。第14表がそれである。

第一に、生理的時間。このうち特に顕著な項目は、入浴である。常昼勤労働者に比べて、交替制労働者の入浴時間は、いちじるしく短い。これは、平日でも、交替制労働者は、就労時間が変則的であるため、浴場の営業時間や家族の入浴時間と一致させることの困難なことによるとと思われる。したがって、それだけ、休息時間が延長される結果となる。

第二に、家庭雑用時間。全般的に、交替制労働者のほうがやや短い。

第三に、居宅余暇時間。このうち大半を占めるのは、テレビであるが、これは、常昼勤労働者のほうがやや長い。かれらが、テレビの番組編成の前提となっている余暇時間配置と合致した生活をおくっているためであろう。しかし、より大きな差異は、「だんらん」(家庭団欒)および雑項目の居宅である。すなわち、交替制労働者は、これらの項目がより高いウニートを居宅余暇時間で占めている。これらの項目は、その他のはっきりした目的をもつた行為ないし活動と対比すると、目的の莫とした居宅状態ともいえるものであり、極言すれば、「無為」と相似であるともいってよい。このように、目的の判然としない家庭での余暇活動がおこなわれている理由はすでにくりかえしたとおり、労働時間の、したがって、その対極をなす余暇時間の位置の不規則性によるものといつてよいであろう。

第四に、外出余暇時間。このうち、映画およびパチンコに代表される居宅外でおこなわれるが、その性質上、受動的といつてよい余暇活動は、交替制労働者により多い。これにたいして、スポーツという能動的な活動は、常昼勤労働者のほうが多い。労働組合にかんする活動は、交替制労働者がより多くおこなっている。これは、PTA参加活動の少なさを、同じ non-work obligation である労働組合活動で補填しようとするものか、あるいは、さきあげたスポーツのごとき能動的活動の代替物であるのかは、はっきりしない。この点は、余暇活動の生活においてもつ意味ないし余暇活動の本質の問題として、別途に追求されねばならぬ課題であろう。

以上を総括すれば、調査した3日間にわたり、すべて常昼勤・交替制の別にしたが、労働者の余暇活動は、かなりの差異をもって現われており、しかも、その傾向は、しばしば逆の関係を示しているといつてよい。それら二つのものを、どのように評価するかは、本報告の任務でもなく、また、このことにかんする調査もおこなわ

なかった。ただ、常昼勤労働がこれまでの通常の労働時間制度の型であったとするならば、交替制労働は、それからの偏倚であり、それにともなつて、交替制労働者の余暇活動も、ある形態変化を余儀なくされたものとみてよいであろう。

この形態変化が、もっとも極端にあらわれるのは、余暇時間配分にもっとも大きい格差のみられた休日である。第15表は、常昼勤・交替制別に労働者の休日の余暇活動をみたものである。

表15 労働時間制度別にみた労働者の休日の余暇時間(小分類)

|           | 常 昼 勤 |       | 交 替 制 |       |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
|           | 休 日   |       | 休 日   |       |
|           | 分     | %     | 分     | %     |
| 食 事       | 85.5  | 9.3   | 109.0 | 12.9  |
| 入 浴       | 18.8  | 2.0   | 21.0  | 2.5   |
| 休 息       | 72.3  | 7.8   | 87.0  | 9.8   |
| 家 事 手 伝   | 16.5  | 1.8   | —     | —     |
| 家 庭 雑 用   | 32.9  | 3.6   | 10.0  | 1.2   |
| テ レ ビ     | 179.9 | 19.5  | 198.0 | 23.4  |
| ラ ジ オ     | —     | —     | —     | —     |
| 新 聞       | 28.6  | 3.1   | 6.0   | 0.7   |
| 読 書       | 7.4   | 0.8   | 6.0   | 0.7   |
| 趣 味       | 45.8  | 5.0   | 60.0  | 7.1   |
| だ ん ら ん   | 25.3  | 2.7   | 83.0  | 9.8   |
| そ の 他 居 宅 | 30.0  | 3.3   | 42.0  | 5.0   |
| 映 画       | 4.4   | 0.5   | —     | —     |
| パ チ ン コ   | —     | —     | 65.0  | 7.4   |
| ス ポ ー ツ   | 189.0 | 20.5  | —     | —     |
| 交 際 ・ 訪 問 | 69.1  | 7.5   | —     | —     |
| 労 働 組 合   | 7.1   | 0.8   | 72.0  | 8.5   |
| P T A     | 38.8  | 4.2   | —     | —     |
| そ の 他 外 出 | 65.8  | 7.1   | 90.0  | 10.6  |
| 計         | 922.0 | 100.0 | 847.0 | 100.0 |

この表は、いま検討した労働時間制度別の労働者の余暇活動の差異が、よりはっきりと析出していることを明示している。すなわち、(イ)交替制労働者のより長い時間をかけた食事・入浴・休息。(ロ)常昼勤労働者の家事手伝、家庭雑用にかかる時間のより長いこと。(ハ)テレビをふくみ趣味、だんらんのための時間の交替制労働者のより長いこと。(ニ)パチンコは交替制労働者に多い。(ホ)スポーツは、常昼勤労働者では主な余暇活動といえる地位にあるが、交替制労働者では皆無。(ヘ)交際・訪問は、前者にあつて、後者にない。(ト)労働組合活動は、交替制労働者の休日余暇活動で、かなりのウェイトをもっているが、PTA参加活動は皆無。常昼勤労働者にとっては、

交替制労働システムにおける労働者の余暇生活の構造

表16 年齢別にみた労働者の余暇時間（小分類）

|           | 34 歳 以 下 |       |       |       |       |       | 35 歳 ～ 45 歳 |       |       |       |       |       | 46 歳 以 上 |       |       |       |       |       |
|-----------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
|           | 20 日     |       | 21 日  |       | 22 日  |       | 20 日        |       | 21 日  |       | 22 日  |       | 20 日     |       | 21 日  |       | 22 日  |       |
|           | 分        | %     | 分     | %     | 分     | %     | 分           | %     | 分     | %     | 分     | %     | 分        | %     | 分     | %     | 分     | %     |
| 食 事       | 56.4     | 11.6  | 65.6  | 15.4  | 61.7  | 11.3  | 49.4        | 13.3  | 59.3  | 16.2  | 70.3  | 9.6   | 51.4     | 12.2  | 60.0  | 12.4  | 67.0  | 9.4   |
| 入 浴       | 10.6     | 2.2   | 12.5  | 3.0   | 11.1  | 2.0   | 7.5         | 2.0   | 8.0   | 2.2   | 11.3  | 2.1   | —        | —     | 11.5  | 2.4   | —     | —     |
| 休 息       | 68.6     | 14.1  | 48.3  | 11.7  | 43.6  | 8.0   | 67.8        | 18.2  | 37.5  | 12.3  | 70.0  | 9.5   | 88.2     | 20.9  | 64.0  | 13.3  | 93.0  | 13.0  |
| 家 事 手 伝   | 25.0     | 5.1   | 8.6   | 2.1   | —     | —     | 11.3        | 3.0   | 7.3   | 2.0   | 4.4   | 0.6   | —        | —     | 1.5   | 0.3   | 24.0  | 3.4   |
| 家 庭 雑 用   | —        | —     | 2.8   | 0.7   | 12.2  | 2.2   | 15.0        | 4.0   | 18.0  | 4.4   | 21.6  | 2.9   | 17.3     | 4.0   | 13.5  | 2.8   | 33.0  | 4.6   |
| テ レ ビ     | 146.1    | 30.0  | 120.3 | 28.0  | 145.6 | 26.6  | 96.9        | 26.0  | 88.7  | 24.3  | 148.1 | 19.9  | 98.2     | 23.3  | 132.5 | 27.5  | 109.5 | 15.3  |
| ラ ジ オ     | 3.3      | 0.7   | —     | —     | —     | —     | —           | —     | 14.0  | 3.8   | —     | —     | 6.8      | 1.6   | 15.0  | 3.1   | —     | —     |
| 新 聞       | 20.3     | 4.2   | 24.4  | 5.9   | 22.8  | 4.2   | 10.6        | 2.9   | 22.0  | 6.0   | 26.6  | 3.6   | 25.0     | 6.0   | 24.5  | 5.1   | 20.5  | 2.9   |
| 読 書       | 8.5      | 1.7   | 5.0   | 1.2   | 24.4  | 4.5   | 2.5         | 0.7   | 7.7   | 2.1   | 10.0  | 1.3   | 5.5      | 1.3   | 3.0   | 0.6   | —     | —     |
| 趣 味       | 1.7      | 0.3   | 10.8  | 2.6   | 14.4  | 2.6   | 4.4         | 1.2   | 12.0  | 3.3   | 30.6  | 4.1   | 21.8     | 5.1   | 39.0  | 8.1   | 56.0  | 7.9   |
| だ ん ら ん   | 53.9     | 11.1  | 17.5  | 4.2   | 10.0  | 1.8   | 10.0        | 2.7   | 4.0   | 1.1   | 22.8  | 3.1   | 33.0     | 7.1   | —     | —     | 16.0  | 2.2   |
| そ の 他 居 宅 | 8.6      | 1.8   | 31.7  | 7.7   | 13.9  | 2.6   | 29.7        | 8.0   | 13.3  | 3.6   | 19.4  | 2.6   | 22.3     | 5.2   | 18.5  | 3.8   | 58.0  | 8.1   |
| 映 画       | —        | —     | —     | —     | 22.2  | 4.1   | 26.6        | 7.1   | 16.0  | 4.4   | 19.1  | 2.6   | —        | —     | —     | —     | —     | —     |
| パ チ ン コ   | 34.2     | 7.0   | 42.8  | 10.3  | —     | —     | —           | —     | 8.0   | 2.2   | 13.8  | 1.9   | —        | —     | —     | —     | —     | —     |
| ス ポ ー ツ   | 8.3      | 1.7   | —     | —     | 38.6  | 7.1   | —           | —     | 8.7   | 2.4   | 163.8 | 22.0  | 13.6     | 3.2   | 19.5  | 4.0   | 122.0 | 17.1  |
| 交 際・訪 問   | 14.7     | 3.0   | 6.1   | 1.5   | 93.1  | 16.9  | 25.6        | 6.9   | 30.0  | 8.4   | 47.5  | 6.4   | 24.5     | 5.9   | —     | —     | 21.5  | 3.0   |
| 労 働 組 合   | 10.0     | 2.1   | 20.0  | 4.8   | —     | —     | 16.3        | 4.4   | —     | —     | 7.5   | 1.0   | 17.7     | 4.1   | 4.0   | 0.8   | 20.0  | 2.8   |
| P T A     | 11.7     | 2.4   | —     | —     | 5.6   | 1.0   | —           | —     | —     | —     | 40.6  | 5.5   | —        | —     | —     | —     | —     | —     |
| そ の 他 外 出 | —        | —     | —     | —     | 31.7  | 5.8   | —           | —     | 4.7   | 1.3   | 16.9  | 2.3   | —        | —     | 75.0  | 15.6  | 64.0  | 9.0   |
| 計         | 487.0    | 100.0 | 415.0 | 100.0 | 549.0 | 100.0 | 373.0       | 100.0 | 367.0 | 100.0 | 747.0 | 100.0 | 422.0    | 100.0 | 482.0 | 100.0 | 714.0 | 100.0 |

表17 学歴別にみた労働者の余暇時間（小分類）

|           | 学 卒 者 |       |       |       |       |       | 非 学 卒 者 |       |       |       |       |       |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
|           | 20 日  |       | 21 日  |       | 22 日  |       | 20 日    |       | 21 日  |       | 22 日  |       |
|           | 分     | %     | 分     | %     | 分     | %     | 分       | %     | 分     | %     | 分     | %     |
| 食 事       | 40.7  | 11.4  | 68.6  | 17.6  | 77.1  | 9.5   | 56.3    | 12.4  | 60.5  | 14.5  | 68.6  | 10.6  |
| 入 浴       | 11.4  | 3.2   | 13.6  | 3.5   | 8.6   | 1.0   | 6.2     | 1.4   | 10.2  | 2.4   | 10.3  | 1.6   |
| 休 息       | 61.4  | 17.2  | 48.6  | 12.6  | 75.0  | 9.2   | 77.2    | 16.8  | 51.3  | 12.3  | 64.5  | 9.9   |
| 家 事 手 伝   | —     | —     | —     | —     | —     | —     | 15.8    | 3.6   | 7.8   | 1.9   | 8.7   | 1.3   |
| 家 庭 雑 用   | 34.3  | 9.6   | 11.4  | 3.0   | 7.2   | 1.0   | 1.8     | 0.4   | 10.4  | 2.5   | 19.2  | 3.0   |
| テ レ ビ     | 75.0  | 21.4  | 55.6  | 14.4  | 124.4 | 15.2  | 124.5   | 28.3  | 123.2 | 29.5  | 129.4 | 20.0  |
| ラ ジ オ     | —     | —     | 25.6  | 6.6   | —     | —     | 3.7     | 0.8   | 5.0   | 1.2   | —     | —     |
| 新 聞       | —     | —     | 15.6  | 4.0   | 32.1  | 4.0   | 21.3    | 4.8   | 25.2  | 6.0   | 20.2  | 3.1   |
| 読 書       | —     | —     | 10.7  | 2.8   | 53.6  | 6.7   | 6.6     | 1.5   | 3.6   | 0.9   | 6.1   | 1.0   |
| 趣 味       | 25.7  | 7.2   | —     | —     | 36.3  | 4.4   | 5.3     | 1.1   | 21.3  | 5.1   | 29.4  | 4.6   |
| だ ん ら ん   | 4.3   | 1.2   | 30.0  | 7.7   | 29.3  | 3.6   | 38.7    | 8.6   | 4.6   | 1.1   | 18.4  | 2.9   |
| そ の 他 居 宅 | 17.1  | 4.8   | 47.1  | 12.2  | 17.1  | 2.1   | 19.1    | 4.5   | 14.8  | 3.6   | 31.0  | 4.6   |
| 映 画       | —     | —     | 34.3  | 8.8   | —     | —     | 11.2    | 2.5   | —     | —     | 19.1  | 3.0   |
| パ チ ン コ   | —     | —     | —     | —     | —     | —     | 16.2    | 3.7   | 24.7  | 5.9   | 6.0   | 1.0   |
| ス ポ ー ツ   | 21.4  | 5.9   | 17.1  | 4.9   | 183.5 | 22.6  | 4.1     | 0.9   | 5.7   | 1.4   | 106.2 | 16.6  |
| 交 際・訪 問   | —     | —     | 9.3   | 2.4   | 14.3  | 1.8   | 24.8    | 5.6   | 13.8  | 3.3   | 68.7  | 10.5  |
| 労 働 組 合   | 37.1  | 10.4  | —     | —     | —     | —     | 9.9     | 2.2   | 11.1  | 2.7   | 8.7   | 1.4   |
| P T A     | 30.0  | 8.4   | —     | —     | 94.3  | 11.5  | —       | —     | —     | —     | 2.4   | 0.4   |
| そ の 他 外 出 | —     | —     | —     | —     | 63.0  | 7.6   | —       | —     | 20.0  | 4.8   | 32.8  | 5.1   |
| 計         | 358.6 | 100.0 | 388.6 | 100.0 | 816.4 | 100.0 | 441.4   | 100.0 | 406.9 | 100.0 | 641.3 | 100.0 |

まったく逆の関係が成立している。

なお、年齢別および学歴別にみた労働者の余暇活動の内容を示したものを前頁にかかげておく。これらの表からは、学歴別のもにやや特徴がみられるが、しかし、それも、労働時間制度別ほかに、いちじるしいものではない。詳細について触れることはさけておく。

### c 附論：妻の余暇生活

以上に、われわれは、交替制下における労働者の余暇生活について分析してきた。そこでえられた特徴が、労働者家族の生活にどのように影響を与えているか、これが本項の焦点である。家族全体の分析は、小稿で果しえないため、労働者本人と最も生活上密接な地位にある妻の余暇生活を見ることにした。

つぎに示す三表は、妻の余暇時間配分を、夫の労働時間制度、妻の年齢、夫の学歴の各別に集計したものである。これらは、いずれも、きわだった差異をもっていない。妻の余暇時間の配分は、夫である労働者の場合と同じく、単なる時間の長さとしてみれば、どのような属性も、決定的な影響をもっていないといつてよい。

表18 夫の労働時間制度別にみた労働者の妻の余暇時間 (分)

|             |     | 生理的時間       | 家庭雑用時間    | 居宅余暇時間      | 外出余暇時間      |
|-------------|-----|-------------|-----------|-------------|-------------|
| 常<br>昼<br>勤 | 20日 | 106.6(22.5) | 3.8 (0.8) | 300.1(65.2) | 55.9(11.0)  |
|             | 21日 | 135.2(23.1) | —         | 262.1(52.3) | 105.5(16.9) |
|             | 22日 | 138.1(26.7) | 6.7 (1.3) | 275.6(52.9) | 101.2(19.6) |
| 交<br>替<br>制 | 20日 | 126.2(24.7) | 6.4 (1.3) | 300.0(58.8) | 81.2(15.7)  |
|             | 21日 | 131.7(30.3) | 1.6 (0.4) | 262.5(57.8) | 56.6(12.5)  |
|             | 22日 | 114.1(18.2) | —         | 237.2(44.1) | 165.5(31.9) |

(注) 妻の家庭雑用時間は、すべて手紙を書く時間である。

表19 年齢別にみた労働者の妻の余暇時間 (分)

|                         |     | 生理的時間       | 家庭雑用時間     | 居宅余暇時間      | 外出余暇時間      |
|-------------------------|-----|-------------|------------|-------------|-------------|
| 29<br>歳<br>以下           | 20日 | 111.1(21.0) | 16.4 (3.1) | 333.0(63.4) | 66.0(12.5)  |
|                         | 21日 | 123.3(27.1) | 2.5 (0.6)  | 239.7(52.9) | 90.1(19.9)  |
|                         | 22日 | 121.6(21.8) | 8.6 (1.6)  | 245.1(44.1) | 179.1(32.3) |
| 30<br>歳<br>～<br>40<br>歳 | 20日 | 111.4(23.4) | —          | 269.7(56.7) | 93.9(19.8)  |
|                         | 21日 | 148.4(32.4) | —          | 269.9(58.7) | 42.3 ( 9.2) |
|                         | 22日 | 122.5(34.3) | —          | 195.7(39.5) | 175.3(35.3) |
| 41<br>歳<br>以上           | 20日 | 125.4(25.5) | —          | 329.0(67.1) | 35.7 ( 7.3) |
|                         | 21日 | 133.7(25.6) | —          | 271.8(50.7) | 101.4(22.4) |
|                         | 22日 | 137.2(26.6) | —          | 322.6(62.8) | 51.4 ( 9.9) |

(注) 第18表注をみよ。

表20 夫の学歴別にみた労働者の妻の余暇時間 (分)

|                  |     | 生理的時間       | 家庭雑用時間    | 居宅余暇時間      | 外出余暇時間      |
|------------------|-----|-------------|-----------|-------------|-------------|
| 学<br>卒<br>者      | 20日 | 91.4(17.6)  | —         | 360.0(69.2) | 67.8(13.1)  |
|                  | 21日 | 140.1(31.1) | —         | 210.1(46.8) | 99.7(22.3)  |
|                  | 22日 | 124.9(21.1) | 5.6 (1.0) | 230.1(38.9) | 232.2(39.1) |
| 非<br>学<br>卒<br>者 | 20日 | 120.9(24.6) | 5.9 (1.2) | 328.9(61.6) | 66.0(13.4)  |
|                  | 21日 | 135.4(27.9) | 0.9 (0.2) | 274.6(56.3) | 78.0(16.0)  |
|                  | 22日 | 126.5(25.1) | 3.1 (0.6) | 256.0(51.0) | 119.1(22.2) |

(注) 第18表注をみよ。

つぎに、余暇活動の内容を、さきの三つの別にしながら、みてみよう。以下にかかげる三表は、その詳細である。

これらを通観して、気のつく点がある。それは、夫である労働者の場合には、交替制が常昼勤かという労働時間制度の別が、余暇活動の個々の項目について、きわめて重要な決定因子であった。しかし、妻の場合では、夫の労働時間制度は、わずかに、読書・趣味といった夫の留守中——しかも日中——おこなわれるもの、およびPTA活動（これも、性質は似ているか）について、交替制労働者の妻のほうが、やや不活発であるという結果をもたらしているにすぎない。むしろ、年齢別にみた余暇活動の差異が、妻の場合にはより大きい。すなわち、趣味は、年齢層のすすむにつれてさかんであり、だんらんは、高・若年層に多く、PTA参加活動は、30歳～40歳のものがピークを示している。また、交際・訪問は若年層ほどさかんととなっている。

これらの差異は、そのほとんどが、妻が家事労働の担当者であることに由来していると考えてよいであろう。すなわち、29歳以下の若年層は、まだ、育児労働を負担していないか、ないし比較的かるいものが多く、また、高年齢層のものも、家事労働負担は、中間の層に比べれば、大分軽いといつてよい。したがって、うえにみたような差異が生ずるものといえよう。たとえば、だんらんは、家事に追われる中年層は少なく、交際・訪問は、より身軽な若年層に多いし、学童・生徒をもつ中年層の妻は、RTA集會に多忙となるといふときである。

もちろん、生活時間の流れでみれば、夫である労働者の労働時間制度別による生活時間構造の変動が、その妻の生活時間とくに余暇時間に影響をおよぼしていることは、いうまでもない。しかし、それよりも、むしろ、妻の余暇時間は、妻の本来的任務である家事労働によって規制される面が、より強いことが、調査の結果判明した。

交替制労働システムにおける労働者の余暇生活の構造

表21 夫の労働時間制度別にみた労働者の妻の余暇時間（小分類）

|           | 常 昼 勤 |       |       |       |       |       | 交 替 制 |       |       |       |       |       |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|           | 20 日  |       | 21 日  |       | 22 日  |       | 20 日  |       | 21 日  |       | 22 日  |       |
|           | 分     | %     | 分     | %     | 分     | %     | 分     | %     | 分     | %     | 分     | %     |
| 食 事       | 78.4  | 16.2  | 75.4  | 15.1  | 79.6  | 15.6  | 77.6  | 15.2  | 81.4  | 18.0  | 70.7  | 13.7  |
| 入 浴       | 13.9  | 2.9   | 29.8  | 6.0   | 30.8  | 5.9   | 16.3  | 3.2   | 29.8  | 6.6   | 16.8  | 3.3   |
| 休 息       | 14.3  | 3.4   | 30.0  | 6.0   | 22.7  | 5.3   | 32.3  | 6.3   | 25.9  | 5.7   | 26.6  | 5.2   |
| 家 庭 雑 用   | 3.8   | 0.8   | —     | —     | 6.7   | 1.3   | 6.4   | 1.3   | 1.6   | 0.4   | —     | —     |
| テ レ ビ     | 172.5 | 35.8  | 113.8 | 22.7  | 108.9 | 20.9  | 177.1 | 34.7  | 155.5 | 34.2  | 131.0 | 25.6  |
| ラ ジ オ     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | 1.4   | 0.3   | —     | —     | —     | —     |
| 新 聞       | 9.4   | 1.4   | 18.7  | 3.7   | 15.8  | 3.0   | 22.2  | 4.3   | 9.3   | 2.2   | 23.4  | 4.6   |
| 読 書       | 17.9  | 3.7   | 23.1  | 4.6   | 27.9  | 5.4   | 5.7   | 1.1   | 10.9  | 2.4   | 6.1   | 1.2   |
| 趣 味       | 16.4  | 3.4   | 32.1  | 6.4   | 54.3  | 10.4  | 1.4   | 0.3   | 7.3   | 1.6   | 5.0   | 0.9   |
| だ ん ら ん   | 86.2  | 17.7  | 64.4  | 12.9  | 59.3  | 11.4  | 76.6  | 15.0  | 56.1  | 12.2  | 43.7  | 8.5   |
| そ の 他 居 宅 | 15.6  | 3.2   | 10.0  | 2.0   | 9.4   | 1.8   | 15.7  | 3.1   | 23.4  | 5.2   | 17.1  | 3.3   |
| 映 画       | 10.8  | 2.1   | 19.6  | 3.9   | —     | —     | 13.6  | 2.5   | —     | —     | 10.9  | 2.1   |
| パ チ ン コ   | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     |
| ス ポ ー ツ   | 5.0   | 1.0   | 15.8  | 3.1   | 2.1   | 1.4   | —     | —     | —     | —     | 15.9  | 3.1   |
| 交 際 ・ 訪 問 | —     | —     | 25.8  | 5.2   | 23.3  | 4.5   | 22.2  | 4.3   | 30.9  | 6.8   | 80.0  | 15.6  |
| P T A     | 36.2  | 7.5   | 24.4  | 5.0   | 55.0  | 10.7  | 24.5  | 4.8   | 5.5   | 1.2   | 27.7  | 5.4   |
| そ の 他 外 出 | 1.9   | 0.4   | 17.9  | 3.6   | 15.8  | 3.0   | 20.9  | 4.1   | 20.2  | 4.5   | 39.9  | 7.8   |
| 計         | 482.9 | 100.0 | 501.3 | 100.0 | 521.0 | 100.0 | 510.7 | 100.0 | 455.0 | 100.0 | 512.7 | 100.0 |

表22 年令別にみた労働者の妻の余暇時間（小分類）

|           | 29 歳 以 下 |       |       |       |       |       | 30 歳 ～ 40 歳 |       |       |       |       |       | 41 歳 以 上 |       |       |       |       |       |
|-----------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
|           | 20 日     |       | 21 日  |       | 22 日  |       | 20 日        |       | 21 日  |       | 22 日  |       | 20 日     |       | 21 日  |       | 22 日  |       |
|           | 分        | %     | 分     | %     | 分     | %     | 分           | %     | 分     | %     | 分     | %     | 分        | %     | 分     | %     | 分     | %     |
| 食 事       | 76.8     | 14.5  | 75.5  | 16.5  | 68.3  | 12.2  | 80.5        | 16.9  | 77.9  | 17.1  | 84.0  | 16.5  | 76.7     | 15.6  | 79.7  | 15.2  | 74.5  | 14.4  |
| 入 浴       | 13.2     | 2.5   | 33.9  | 7.5   | 22.2  | 4.0   | 20.9        | 4.4   | 34.6  | 7.5   | 24.7  | 5.0   | 10.0     | 2.0   | 21.7  | 4.2   | 24.0  | 4.7   |
| 休 息       | 21.2     | 4.0   | 13.9  | 3.1   | 31.1  | 5.6   | 10.0        | 2.1   | 35.9  | 7.8   | 13.8  | 2.8   | 38.7     | 7.9   | 32.3  | 6.2   | 38.7  | 7.5   |
| 家 庭 雑 用   | 16.4     | 3.1   | 2.5   | 0.6   | 8.6   | 1.6   | —           | —     | —     | —     | —     | —     | —        | —     | —     | —     | 2.7   | 0.5   |
| テ レ ビ     | 170.0    | 32.1  | 126.1 | 27.8  | 135.0 | 24.2  | 211.0       | 43.1  | 128.5 | 27.9  | 94.3  | 19.0  | 211.0    | 43.1  | 145.0 | 27.0  | 134.3 | 26.1  |
| ラ ジ オ     | 2.1      | 0.4   | —     | —     | —     | —     | —           | —     | —     | —     | —     | —     | —        | —     | —     | —     | —     | —     |
| 新 聞       | 16.4     | 3.4   | 12.5  | 2.8   | 29.3  | 5.3   | 15.4        | 3.1   | 10.9  | 2.4   | 23.2  | 4.7   | 15.4     | 3.1   | 19.7  | 2.8   | 6.0   | 1.2   |
| 読 書       | 17.1     | 3.5   | 23.6  | 5.2   | 18.2  | 3.3   | 6.7         | 1.4   | 16.4  | 3.6   | 26.5  | 5.3   | 6.7      | 1.4   | 13.0  | 2.5   | 6.7   | 1.3   |
| 趣 味       | 2.1      | 0.4   | 7.2   | 1.6   | 7.9   | 1.4   | 25.6        | 5.3   | 29.4  | 6.4   | 17.4  | 3.5   | 25.6     | 5.3   | 22.0  | 4.2   | 66.7  | 13.0  |
| だ ん ら ん   | 102.1    | 19.4  | 59.6  | 13.1  | 45.4  | 9.3   | 87.5        | 18.4  | 67.1  | 14.6  | 21.1  | 4.3   | 56.0     | 11.4  | 53.7  | 10.3  | 92.5  | 18.0  |
| そ の 他 居 宅 | 23.2     | 4.4   | 10.7  | 2.4   | 9.3   | 1.7   | 10.6        | 2.2   | 17.6  | 3.8   | 13.2  | 2.7   | 14.3     | 2.8   | 20.4  | 3.9   | 16.4  | 3.2   |
| 映 画       | 21.4     | 4.1   | —     | —     | —     | —     | 15.3        | 3.2   | 14.1  | 3.1   | 14.1  | 2.8   | —        | —     | 15.3  | 2.9   | —     | —     |
| パ チ ン コ   | —        | —     | —     | —     | —     | —     | —           | —     | —     | —     | —     | —     | —        | —     | —     | —     | —     | —     |
| ス ポ ー ツ   | —        | —     | 10.0  | 2.2   | 25.0  | 4.5   | 7.1         | 1.5   | 2.9   | 0.6   | 3.5   | 0.7   | —        | —     | 12.7  | 2.4   | 7.3   | 1.4   |
| 交 際 ・ 訪 問 | 19.6     | 3.7   | 47.9  | 10.6  | 87.6  | 15.8  | 10.3        | 2.2   | 5.9   | 1.3   | 52.5  | 10.6  | —        | —     | 35.4  | 6.8   | 13.4  | 2.6   |
| P T A     | —        | —     | —     | —     | 22.2  | 4.0   | 58.5        | 12.3  | 16.8  | 3.6   | 95.5  | 19.2  | 27.7     | 5.7   | 28.0  | 5.4   | —     | —     |
| そ の 他 外 出 | 25.0     | 4.7   | 32.2  | 7.1   | 44.3  | 8.0   | 2.7         | 0.6   | 2.6   | 0.6   | 9.7   | 2.0   | 8.0      | 1.6   | 25.3  | 4.9   | 30.7  | 5.9   |
| 計         | 527.0    | 100.0 | 455.0 | 100.0 | 553.0 | 100.0 | 475.0       | 100.0 | 461.0 | 100.0 | 553.0 | 100.0 | 490.0    | 100.0 | 525.0 | 100.0 | 514.0 | 100.0 |

教 育 学 部 紀 要 第 9 号

表23 夫の学歴別にみた労働者の妻の余暇時間（小分類）

|           | 学 卒 者 |       |       |       |       |       |  |  | 非 学 卒 者 |       |       |       |       |       |  |  |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|---------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|
|           | 20 日  |       | 21 日  |       | 22 日  |       |  |  | 20 日    |       | 21 日  |       | 22 日  |       |  |  |
|           | 分     | %     | 分     | %     | 分     | %     |  |  | 分       | %     | 分     | %     | 分     | %     |  |  |
| 食 事       | 74.3  | 14.3  | 85.6  | 18.6  | 85.6  | 14.5  |  |  | 78.7    | 16.0  | 77.3  | 15.9  | 73.5  | 14.6  |  |  |
| 入 浴       | 5.0   | 1.0   | 18.6  | 4.1   | 20.7  | 3.5   |  |  | 17.5    | 3.5   | 31.8  | 6.6   | 24.2  | 4.8   |  |  |
| 休 息       | 12.1  | 2.3   | 37.9  | 8.4   | 18.6  | 3.1   |  |  | 24.7    | 5.1   | 26.3  | 5.4   | 28.8  | 5.7   |  |  |
| 冢 庭 雑 用   | —     | —     | —     | —     | 5.6   | 1.0   |  |  | 5.9     | 1.2   | 0.9   | 0.2   | 3.1   | 0.6   |  |  |
| テ レ ビ     | 149.3 | 28.7  | 55.0  | 12.2  | 75.0  | 12.7  |  |  | 180.0   | 36.5  | 147.8 | 30.1  | 127.5 | 25.4  |  |  |
| ラ ジ オ     | —     | —     | —     | —     | —     | —     |  |  | 0.8     | 0.2   | —     | —     | —     | —     |  |  |
| 新 聞       | 15.0  | 2.9   | 23.6  | 5.3   | 7.1   | 1.2   |  |  | 14.6    | 3.0   | 12.6  | 2.6   | 21.6  | 4.3   |  |  |
| 読 書       | 4.3   | 0.8   | 67.9  | 15.1  | 33.6  | 5.7   |  |  | 13.5    | 2.7   | 8.6   | 1.8   | 14.6  | 2.9   |  |  |
| 趣 味       | 31.4  | 6.0   | 33.6  | 7.5   | 82.9  | 14.0  |  |  | 5.8     | 1.2   | 17.8  | 3.7   | 21.4  | 4.3   |  |  |
| だ ん ら ん   | 141.4 | 27.2  | 30.0  | 6.7   | 28.6  | 4.8   |  |  | 98.8    | 14.4  | 68.5  | 14.1  | 56.1  | 11.1  |  |  |
| そ の 他 居 宅 | 18.6  | 3.6   | —     | —     | 2.9   | 0.5   |  |  | 15.4    | 3.1   | 19.3  | 4.0   | 14.8  | 3.0   |  |  |
| 映 画       | —     | —     | 34.3  | 7.7   | —     | —     |  |  | 14.4    | 2.9   | 5.9   | 1.2   | 6.2   | 1.2   |  |  |
| パ チ ン コ   | —     | —     | —     | —     | —     | —     |  |  | —       | —     | —     | —     | —     | —     |  |  |
| ス ポ ー ツ   | 17.1  | 3.3   | 20.0  | 4.5   | 22.9  | 3.9   |  |  | —       | —     | 6.2   | 1.3   | 9.3   | 1.8   |  |  |
| 交 際 ・ 訪 問 | —     | —     | 13.3  | 2.9   | 27.1  | 4.6   |  |  | 11.6    | 2.4   | 31.1  | 6.4   | 54.7  | 9.4   |  |  |
| P T A     | 28.6  | 5.5   | —     | —     | 126.6 | 21.2  |  |  | 31.1    | 6.3   | 18.1  | 3.7   | 27.0  | 5.4   |  |  |
| そ の 他 外 出 | 22.1  | 4.3   | 32.1  | 7.2   | 55.6  | 9.4   |  |  | 8.9     | 1.8   | 16.7  | 3.4   | 21.9  | 4.4   |  |  |
| 計         | 520.7 | 100.0 | 449.3 | 100.0 | 590.1 | 100.0 |  |  | 491.8   | 100.0 | 484.5 | 100.0 | 504.7 | 100.0 |  |  |

家事労働の質と量が、いかにこの規制の要因として作用するかは、今後の課題の一つである。

（追記：本調査の集計は、すべて本学部学生の高橋洋介君が担当した。記して感謝の意を表わしたい）